

令和4(2022)年度第1回 南犬飼中の教育に係るアンケート結果並びに考察

壬生町立南犬飼中学校

 よくあてはまる
  ややあてはまる
  あまりあてはまらない
  全くあてはまらない

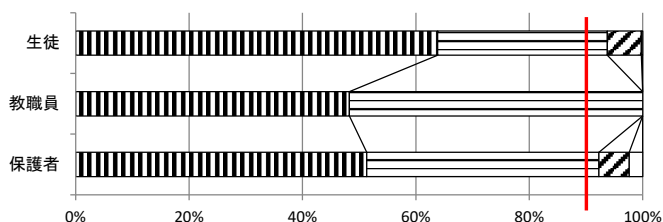
アンケートの見方

生徒、保護者、教職員それぞれが、同じ項目を「生徒の姿」を通して自己評価し、比較しています。グラフ内の縦線は、年度当初に目標値として立てた数値指標を表しています。数値指標は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合としています。

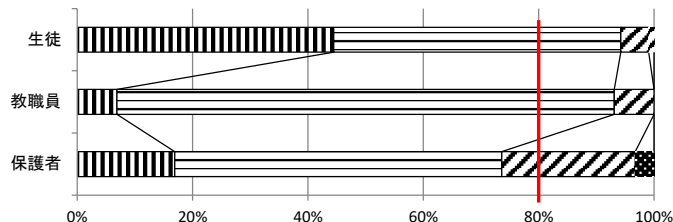
アンケート実施日R4.7

学校生活全般(共通)

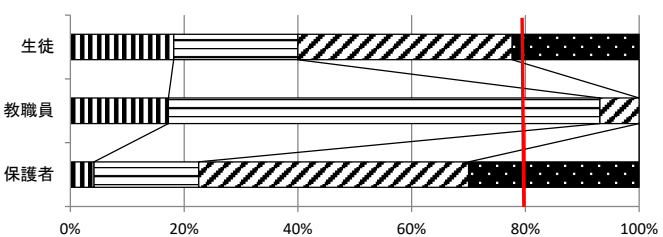
(1)楽しく学校生活を送っている



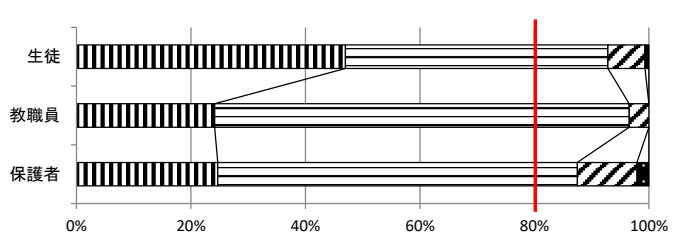
(2)授業は分かる



(3)読書や新聞を読んでいる



(4)人権を尊重した言動



(1)(4)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標を達成し、大変良い状態です。

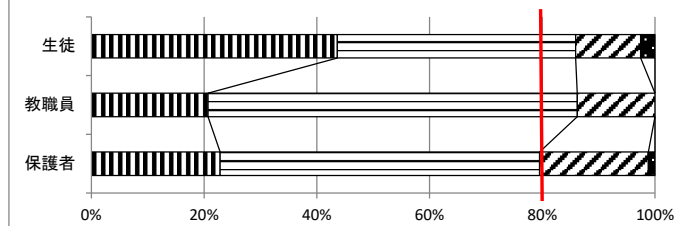
(2)は生徒・教職員は、指標を達成しています。分かったと答えた生徒が9割をこえていることから「授業は分かる」実態が把握できます。ここ2年間は、保護者に授業を公開することができませんでした。6月27日ようやく授業参観を実施することができました。授業を見ていただく機会を確保します。

(3)は、朝の読書は定着し、時間前に読書を始める生徒も多く見られます。今年度より「新聞を読む」ことも加えたため生徒・保護者のポイントが前回より下がっています。学校では、NIEコーナーや教室などで複数の新聞記事に気軽に目を向けることができる環境も整えています。朝の読書や新聞記事と時事の関連等に目的を持たせ、意味のある行為につなげたいと考えます。

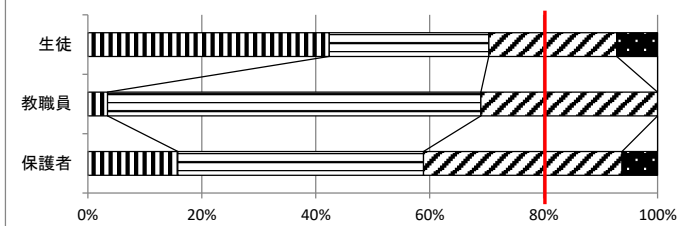
(4)は、(1)の学校生活や(2)の授業とも大きく関連するため、「専門職としての自覚」「生徒への愛情」「範を示す」行動に努めます。

学ぶ力を育む

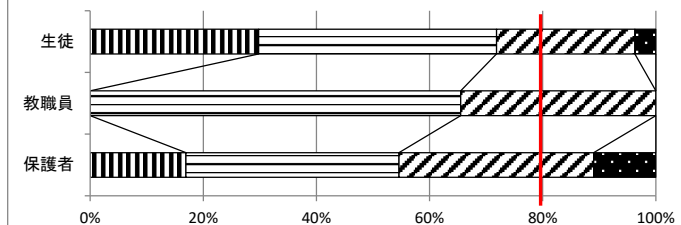
(5)自分の考えを述べる



(6)将来の夢や目標



(7)家庭学習の習慣

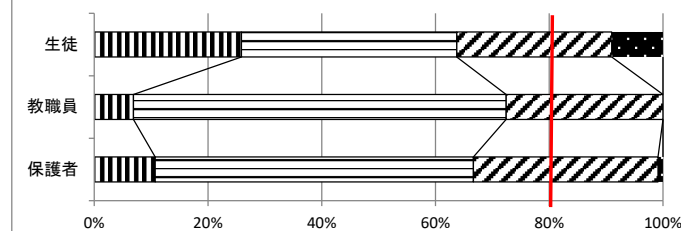


(5)は、生徒・保護者ともに指標を達成しています。特に生徒に関しては、今回指標を超えることができ、「考えを持つ」「想いを伝える」活動が充実している実態が把握できます。今後も授業やすべての教育活動において、自分の考えを発言したり、書いたりすることを丁寧に実践していきます。

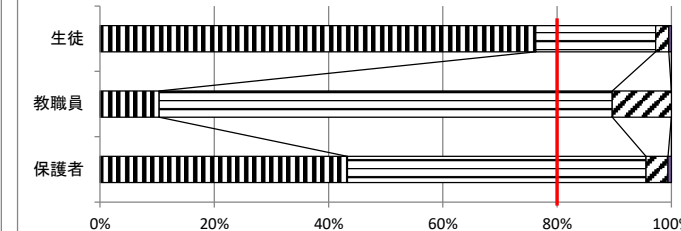
(6)(7)は、生徒・保護者・教職員のいずれも課題となりました。現在、「自分の興味あることを調べる」取組を行っていますが、家庭学習の習慣にはつながっていません。学習委員会では教職員へのインタビューによる教科学習のポイントを放送するなど具体的な取組を紹介し、学習の習慣化を図っています。学習への自信が、夢や目標とも連動していくものと考えます。

豊かな心を育む

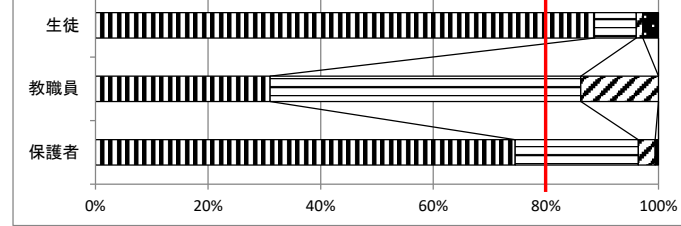
(8)自分の良さを見つける



(9)自他を大切にする



(10)いじめをしない

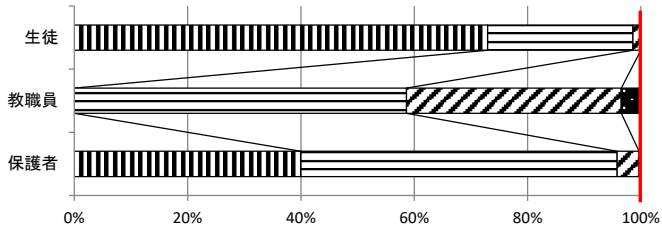


(9)(10)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し良い状態にあります。生徒及び保護者と教職員とで認識の差は見られます。教職員は、学校全体を把握していること、他に対してさらに思いやりの気持ちを抱いてほしいとの期待が込められています。生徒に対して励ましの言葉掛けを増やしています。

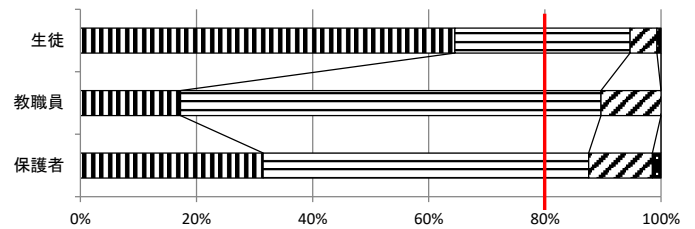
(8)は、生徒・保護者・教職員のいずれも課題となりました。教職員に関しては、昨年度の6割から今年度の7割へポイントが増えている実態から、「自分の良さを見つける」働きかけを意識して行えていることがうかがえます。引き続き、自分の良さとは何かを改めて考えさせるとともに、良さを見つけ合う活動を取り入れます。

健やかな体を育む

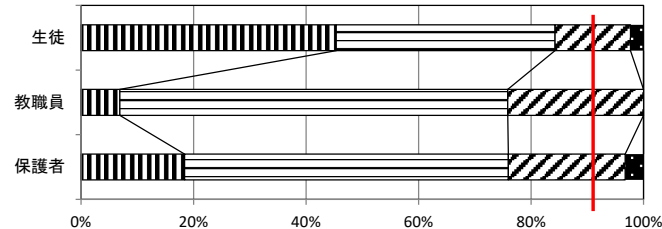
(11)登下校の安全



(12)けがや病気の予防、健康の増進



(13)規則正しい生活習慣



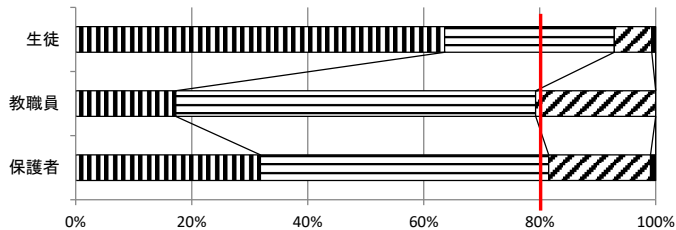
(12)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し大変良い状態にあります。新しい生活様式の下、マナーを守った生活が浸透していることが要因と考えます。

(11)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標を達成できませんでした。生徒・保護者ともに9割近く安全を意識している実態は把握できます。登下校時の生徒の様子に関して、地域の皆様から何度かご指摘を受けました。交通マナーを通して、地域への感謝を表すこと、時間にゆとりを持ち、ルールを遵守する指導を継続しています。

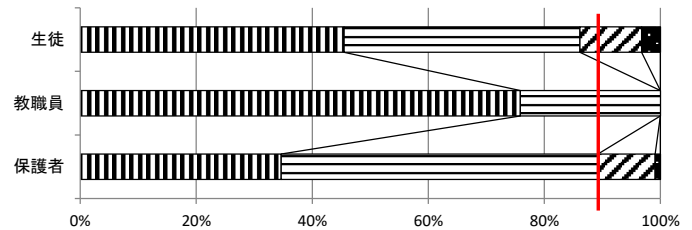
(13)は、生徒・保護者・教職員のいずれも課題となりました。コロナ禍で、家で過ごす時間が多くなりました。ノーメディア週間の意識を高め、限られた時間を大切にする生活習慣を心掛けさせます。

地域とともにある学校

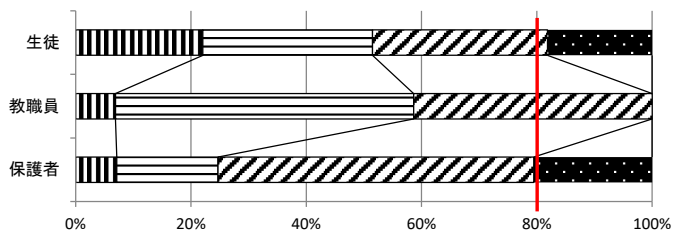
(14)学校内外であいさつ



(15)教育活動を発信



(16)地域行事への参加



(14)は、生徒・保護者・教職員ともに指標を達成しています。教職員は今回指標を達成しました。教職員も生徒のあいさつが充実している実感を得ています。生徒会が中心となり、毎月はじめに自主的にあいさつ運動に取り組んできた成果が見られます。今後も継続して実践していきます。

(15)は、、保護者・教職員は指標を達成しています。学校だより、学年だより、各種たよりやホームページによる教育活動の発信の成果であると考えます。また学級通信等による生徒の姿や生徒会通信の意味を考えさせます。

(16)は、実施できる地域行事が減少しています。実施できる地域行事だけでなく、ボランティアとして「小さな貢献」を増やしていきます。